

## 鉄砲洲神社詩吟 素読論語解説

(平成 25 年 9 月 20 日)

【一】子曰く、善人 邦を為むること百年ならば、亦 以て残に勝ち殺を去るべしと。  
誠なるかな是の言や。

孔子が言うには「善い人が大臣になり、総理大臣になって百年政治が続くようであれば、残酷で残虐な世の中は起きないであろうし、死刑というのもなくなるであろう。その考え方、言葉は素晴らしいものだ」

今の世の中と比べて見ればどうでしょう。法務大臣が変わる度に死刑を実行したりしなかったり、これは普通の能力の人が大臣をするので色々と変わりますが、最終的には百年間あれば死刑は無くなるであろうと思います。百年間、普通に政治が行われるようであれば、まあまあましな世の中になるのではないかと捉えられます。日本というのは、どうなんでしょうかね。明治維新以降と考えるか、終戦直後から考えるか。今の時代は、終戦直後から考えるのは、あと一世代は必要なんだろうという気がします。

【一二】子曰く、如し王者有らば、必ず世にして後に仁ならん。

孔子が言うには「素晴らしい人物が現れて、今の時代でしたら内閣総理大臣になったとして、(世は一世代ですから) 30 年経てば、仁がその国に行き渡ることであろう」

「仁」で行き渡らせるということは、難しいですね。宮沢賢治の世界かな、困っている人が遠くであっても助けに出掛ける人も多いし、寄付をしなければならぬとなれば、自分の分を若干削っても寄付をする。食べるものを減らしても他の人々を助ける。みなお互いに助け合いの精神で、そのような精神の仁が世の中に行われるには、素晴らしい人物が世に出て総理大臣をしたとしても、一世代 30 年は掛かるでしょう。

安倍さんが出てきて素晴らしい人選をしいていると仮に後世言われるとしても、30 年間総理大臣を続けないと、そうはいかないからちょっと苦しいなという気がします。でも自民党政権、自公政権が 30 年続けばと言い変えても良いかもしれません。どうなるのかなど時々考えるのですが、一回、共産党が政権を取ったら、天皇陛下を今の地位から下ろすと標榜しているし、天皇制を打破しようということを標榜している訳だから、一回政権についたら民主党の比ではないのだろうという気がします。一つの政権が一世代続いたのなら

ば、良いも悪いも一回ちゃぶ台返しがあるのかなという風にここは読みます。

【一三】子曰く、苟も其の身を正しくせば、政に従うに於て何か有らん。其の身を正しくすること能わずんば、人を正しくすることを如何にせん。

孔子が言うには行いを正しくする。姿勢をきちんとする。そして、そういう状態で政治に携われば、普通の問題というのは、そう難しくはないはずである。簡単とまでは言わなくても、政治を行う人が私利私欲ではなく公正にということ政に従事するようであれば、素晴らしい世の中になっていくであろう。ただし、私利私欲を先にするようであれば、または自分の行いにちょっと疑問符が付くようであれば、自分のことを棚に上げて他人に色々言うのは出来る訳がないではないか。人様を正しくする道を教えるのは正しく出来る訳がない。まず自分の身をきちんとして御覧なさいと捉えます。

これを実行しようとして政治家は収入や財産の状況を明らかにするとかやっていますが、発表しているものと隠しているものとの乖離をかなり感じられるので、換骨奪回というのでしょうかね。ちょっと調べれば公に発表しているものと、その現実とはかなり食い違えます。一昔前になりましたけれど、大人になっているのですが母親からおこずかいを多額に貰っていて、貰っていた人物は気がつかなかったという、そんな馬鹿な話があるかという鳩山さんの話がありますので、表面はそうだなと思っても中身を考えるとそんな馬鹿な話があるかという事が、今の世はあまりにも充満しすぎていると、この章を見て感じました。